

一、巻ッ四歩き履七毛

右預リ主小次郎

メ 五拾六、巻組三ツ以、也

但本株メ拾八株貳ツ

右享保二十年卯五月

蛸株主人義相設置候外申付

但市右衛門殿蛸株十八組ヨリ貳ツ年々銀ニ而渡文

第九號

蛸船増加ニ付差留願并ニ差留命令書

(説明) 寛宝三年亥寅四月廿四日安藝郡仁保島蛸船年々増加スルニ付差留方願出タ

ル所開濟トナリ仁保島庄屋半三郎へ船數並ニ乗組人員ヲ定メ命令書下付ノ事

一、蛸船増加差留願並ニ命令書下付ノ事

奉數願口上之儀

一、仁保島ヨリ三十年余以未追々草津之通り蛸船鹿松仕出しセリニ成、別而迷惹仕候

仁保島蛸船船八三人乗七艘程ツ御座候仁保島之義ハ御上ヨリ御定メ被遣候株ト

(三九)

六右衛門

(三〇)

申義モ無御座ニ付銘々力有若ハ近与追々相増拾四艘程ニ被成登リ申候テ其上巻艘  
ニ四人乗程ツ乗當、浦船之通り仕候得共凡拾八艘余相見へ申候尤モ当手増船仕  
候義モ大坂ニ而承リ罷候リ以候間合申候外致相違モ無御座候趣ニ御座候ヒツ意ハ  
今迄ハ御国内之儀 御上ニ御苦勞奉懸候義殊ニ仁保島庄屋等諸リ候地並御座候ニ  
付仲間了管ヲ以其分ニ仕候外追々セリ売多くオノツカラカテ販賣仕候事ニ  
迷惹仕候

右之通ニ御座候ニ付私共多人數仲間至極難儀仕候義ニ御座候ニ付御座候  
以先軍仲間若共手柄仕候義モ趣意立様御了管被寫付被遣候得ハ指御銀正方ニ  
入等モ借候様ニ相成尤モ古借方モ誤立候様仕度奉存候申上候通ニ付今ニテハ  
筋立不申仁保島ニ仕卷レ別テ心外之至ニ奉存候何分取候様御教被 仰上被下候  
コト奉願上候爲其善付指上申候 以上

寛宝三年亥寅四月廿四日

松 屋 六右衛門  
万 屋 八右衛門  
免ぶすや 孫 七  
あやや 勘 兵衛

手高庄屋

- 山口や 七右衛門
- 山口や 嘉兵衛
- 小西水 五郎兵衛
- 車屋 徳兵衛
- 松木屋 八郎左衛門
- 松木屋 勘右衛門
- 三嶋屋 次右衛門
- 宮嶋屋 長左衛門
- 播磨屋 小次郎
- 船くらや 市郎左衛門
- 木屋 清七
- 船倉屋 興兵衛
- 小嶋屋 六兵衛
- あがや 八右衛門
- あぶすや 七兵衛
- 山口や 孫八
- 大野屋 長兵衛

(三)

市右衛門 殿

組頭秀石衛門 殿

同 平藏 殿

石之通当所蛸仲間ヨリ數キ書付指出申候吟味仕候処相違モ無御座候所ニオエテ騙儀ニ  
 継候テの多人數助幣ニ相成候ニ付仲間拾ハ株ト申義往白ヨリ蝦ニ不相成様 御上ヨリ  
 被 仰付候義下其上前書之通り大ノ之所分最成ル手柄仕候様モ是迄御間届被爲遊候テ  
 弥蛸株之儀大切尙尙仕来リ之通奉守様被仰付置津浦ニテハ此外新船等不相成候様惣仲  
 間相心得蛸株売買之時分ハ不相成ニ置段仕候然ル外芝藝郡仁保島之儀三十年前ヨリ草  
 津浦之通り蛸船三人乗七艘程ソ、仕出申候彼地之義ハ草津トハ違ニ銘々力次オニテ仕  
 出シ参リ只今頃拾四艘程罷登リ適尙仕候由オノカウ草津浦蛸船之對儀ニ罷成リ年々  
 借銀方算用合亦増トフトリ此度大坂銀主方ヨリ仕入留メ尤モ年未之借銀等ニ至迄之儀  
 申来リ途方ニ暮レ迷惑仕候 意只今迄ハ御上御苦勞成儀申上候段又候、仕保島生ヤ  
 所等之地並シ遠慮仕旁、了管ニ付只今迄ニ所難儀罷成候旨ニ相聞へ申候夫ニ付大坂表  
 御手之義御改メ願出申上候得ハ御間届御改メ被爲遊候旨ニ候由ニ申候得共何分御間之  
 被 仰付ヨリ奉リ候上ニテ之義ニ無之候テハイカガハシク候旨比義手堅ク申付置候  
 義ニ御座候大坂表ニ而石趣御願ニ申上候得ハ当浦之外一切手便リ申義罷成候旨ニ御座  
 候得共双方品能ク執計モ仕度奉存候草津浦之蛸仲間存寄、聞合せ候処御慈悲ヨリテ先

(三)

手大阪町奉行様ニテ奉申上候通り外ニ一切参り不申候様奉願度旨ニ相聞申候得共仕候

島ト草津浦ノ義ニ付仁保島仕来リ之通り蛸船三人乗七艘計リ商売仕候様被 仰付被爲  
遣候得ハ此許仲間へ私共ヨリ酬得仕ラセ 伺後草津浦之分ニ卷込ニ大坂表申上候様仕  
度奉存候只今迄通りニテハ草津浦之功ヲ以テ仁保島手迄仕候様押移リオ一銀主方筆  
迄トモツレニ相成借方之義ニ付多人数之商売石之通り 御上御苦勞ニ懸リ候様成義モ  
無之候得カシト役人共平生氣遣ニ奉存候石奉願上候通り御間届モ被遣候得ハ御座ヨリ以  
多人数ノ仲間相統キ商売仕銀主方へモ私共ヨリ内受合筆仕遣々仕入筆借替過分之古借  
物等モ取立候様仕度奉存候爲其與書仕願書指上申候以上

亥聞四月廿四日

年番庄屋

市石衛門

組頭 彦石衛門

目 平 藏

田中茂右衛門 様

早速四郎右衛門 様

原 新五兵衛 様

奥村若右衛門 様

(三)

(三)

河野兵左衛門 様

山中権之丞 様

覺

蛸船拾四艘

但シ老艘ニ三人乗宛

石之通此度蛸船数極ナ被 仰付候此段蛸屋共へ申間以未船人等相増候ハハ急度可被  
仰付候堅々相守候様可被申渡候爲其書付ヨリ以申渡候以上

寛保三年亥年十二月

仁保島

河野 兵左衛門 印

山中 権之丞 印

高松 金石衛門 印

仁保島庄屋

半三郎殿